

## 【教育カリキュラムの構成】

○ 教育カリキュラムの構成は、

- ① 「人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法」
- ② 「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」
- ③ 「地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術」
- ④ 「サービスに関する知識」
- ⑤ 「実習・演習」

の科目群からなるものとする。

○ なお、

- ・ 「人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法」及び「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」については、社会福祉士に求められる知識及び技術のうち、主に2の①、③、④及び⑥に対応するものとして、
- ・ 「地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術」については、主に2の④及び⑤に対応するものとして、
- ・ 「サービスに関する知識」については、主に2の②に対応するものとして、
- ・ 「実習・演習」については、他の講義系科目との連動性にも配慮しつつ、2の①から⑥までの知識及び技術を実践的に習得するものとして、位置付け、それぞれ具体的に科目を設定する。

## 【教育内容（シラバス）】

- 教育内容（シラバス）については、**国家試験によって社会福祉士として必要な知識及び技能が評価されること**を踏まえ、詳細な内容までは示さないこととし、それらについては、**出題基準の中で網羅的に反映させる。**

## 【大学等における指定科目・基礎科目】

- 大学等における指定科目・基礎科目については、科目名が一致していれば足りることとされている現行の仕組みを基本的には維持するが、**特に実習・演習に関して教育内容や時間数にばらつきがあるとの指摘があること**を踏まえ、**実習・演習の教育内容や時間数、教員要件等について養成施設と同等の基準を満たさなければならないこととする。**
- また、指定科目・基礎科目の科目名について、現行と同様、**一定の読替の範囲を設定する。**

## (新たな教育カリキュラムの全体像)

	一般養成施設	短期養成施設	大学等	
	時間	時間	指定科目	基礎科目
<b>人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法 (180h)</b>				
人体の構造と機能及び疾病	30		○	○
心理学理論と心理的支援	30		○	○
社会理論と社会システム	30		○	○
現代社会と福祉	60	60	○	
社会調査の基礎	30		○	○
<b>総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術 (180h)</b>				
相談援助の基盤と専門職	60		○	○
相談援助の理論と方法	120	120	○	
<b>地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術 (120h)</b>				
地域福祉の理論と方法	60	60	○	
福祉行財政と福祉計画	30		○	○
福祉サービスの組織と経営	30		○	○
<b>サービスに関する知識 (300h)</b>				
社会保障	60		○	○
高齢者に対する支援と介護保険制度	60		○	○
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30		○	○
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	30		○	○
低所得者に対する支援と生活保護制度	30		○	○
保健医療サービス	30		○	○
就労支援サービス	15		○	○
権利擁護と成年後見制度	30		○	○
更生保護制度	15		○	○
<b>実習・演習 (420h)</b>				
相談援助演習	150	150	○	
相談援助実習指導	90	90	○	
相談援助実習	180	180	○	
合計	1,200	660	22科目	16科目

科 大  
目 学  
の 等  
う ち  
ち にお  
、い  
一 ては  
科 三  
目

科 大  
目 学  
の 等  
う ち  
ち にお  
、い  
一 ては  
科 三  
目